

修善寺地域福祉委員会

対象地区	大下、半経寺 温泉区 第1ブロック（下神戸、中神戸、上神戸） 第2ブロック（小坂、弁天町、小山） 第3ブロック（南町、本町、遊覧町、桂町） 芝山台、中里、紙谷、北又、湯舟、雇用促進住宅
立上年月日	平成 25 年 6 月

1 現在までの経過

- 地域のコミュニケーションを深める場が少なくなった
かわら版の活用・・・「わがまちしゅぜんじ」の発行、只今、第 24 号まで発行。
- アパートやひとり暮らしの人がわからない
地域福祉委員と民生委員が協力して、**ホイッスルを配布**することで把握を試みた。また、ホイッスルを災害時や困った時、助けを呼びたい時に活用しようと呼びかけた。避難を中心にした**防災に関する勉強会**を区長・町内会長にも呼びかけて、3年続けて行った。
- 各地区の問題点や感じること
 - 子どもの声を聞かない、子どもがいなくなった。修善寺小学校児童数は86名。
 - 住民と地域との繋がりが減った
担ぐ人がいなくなって神輿を出せないことをはじめ、地域の伝統行事の継承が難しくなってきた。
 - 買い物に困る
地元の店を使わなくなったら、無くなってしまった。今やっている店をみんなで利用して支えよう。（店がコミュニティになっている。）

2 今年度の活動

コロナ禍の生活の中で、いろいろな行事が縮小されたり中止となったことから、これでは地域の行事やお祭り、昔から大切に守ってきたことが途絶えてしまうのではないかと、自分達は次の世代に伝える役目があるのではないかと意見が多く出ました。そして、守りながらも新しく繋いでいくことも大切ではないかと皆の想いがまとまり、修善寺小学校区に住んでいる人向けに地域を見直していけるものを作ることになり「わがまちしゅぜんじ すごろく」が出来上がりました。各委員から地域の情報や資料を持ち寄り、編集委員6人を選出して、5回の編集委員会を開催し、委員全員で完成品を袋詰めして全戸配布しました。



制作意図について

修善寺地域福祉委員会は地域の行事や祭、施設、言い伝え、風習など時間の経過や少子高齢化などにより次の世代に引き継ぐことが難しくなったり、あいまいになったりすることはもったいないと考えました。そこで全世代（特に小学生など）に興味を持っていただけるよう修善寺小学校区に特化して掘り起こし、双六にしてみました。今回はナメド大門から修禅寺の手前までの道のりにあるいろんな事をそれぞれ持ち寄って作りました。

このようなものを作るには、実はエネルギーを必要とします。正確を期すために地域の長老に話を伺ったり、書物を紐解いたり、実際に現地に赴いたり、それはやはり次世代に引き継ぎたいという各委員と関係者の情熱があったからだと思えます。

コロナ禍の折、様々な制約があります、新しい生活様式という言葉にあるよう、少し生きにくい世の中になってきました。昔の人は同じような災厄を乗り越えてきました。皆さんで頑張りましょう。

令和2年度代表 遠藤康博



3 今後の活動計画

次は、修禅寺から桂谷に向かった道のりにあるいろんなことを持ち寄り双六にします。

地域福祉委員

地区等	氏名	地区等	氏名
大下	遠藤康博	紙谷	—
半経寺	植田泰式	北又	野村廣志
第1ブロック	植田正尚	湯舟	飯塚 智
第2ブロック	柳下雅之	社協推薦	原 京
第3ブロック	瀬川国秋	サロンかつら	池田康の
芝山台	木村広幸	サロン嵐山	杉村恵子
中里	植田圭一郎		小川内京子

民生委員児童委員

地区等	氏名	地区等	氏名
大下	小川内利光	南町・本町	遠藤演夫
半経寺	小森充子	遊覧町・桂町	池田松代
下神戸・上神戸	尾鷲陽一	中里	吉川政浩
中神戸・芝山台	海野二郎	紙谷・雇用促進	井邑政彦
小坂・弁天町	高久敏雄	北又・湯舟	梅原 博
小山	平松爲幸		

担当職員 扇谷陶子 小森真理子